

令和2年度事業報告及び収支決算について

【事業報告】

I. 会議

1. 総会（第8回総会）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から総会を開催せず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58号に基づき、令和2年6月10日付で代表理事から提案があった下記事項について、社員総会の決議の省略の方法により各会員に諮り、全会員の同意並びに全監事の承諾を得て、同6月17日付で総会の決議があったものとみなされた。

総会の決議があったとみなされた事項

1. 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について
2. 令和2年度会費の賦課額及び徴収方法の決定について
3. 役員の新選任について

辞任届が提出された役員（理事2名、監事2名）の後任者を以下の通り決すること

後任理事：藤代克彦氏（岩手県庁農林水産部農政担当技監）

高橋 司氏（全国農業協同組合連合会岩手県本部副本部長）

後任監事：高橋 徹氏（岩手県農業協同組合中央会農業担い手サポートセンター長）

菊池邦和氏（岩手県農業共済組合参事）

2. 理事会

(1) 理事会（第1回）

定款30条に基づき理事会が招集され、理事会決議事項（令和元年度事業報告・収支決算の承認、賛助会員の入会の承認）が決議され、また総会決議の省略（みなし決議）及びその提案内容について決議した。

期 日：令和2年5月26日

場 所：岩手県農業共済会館 会議室

議 事：① 令和元年度事業報告及び収支決算について

② 第8回総会決議の省略について

③ 決議省略の提案内容について

ア 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について

イ 令和2年度会費の賦課額及び徴収方法の決定について

ウ 役員の新選任について

④ その他

(3) 理事会（第2回）

期 日：令和3年2月10日

場 所：岩手県農業共済会館会議室

議 事：① 令和2年度事業進捗状況及び予算の執行状況について

② 令和3年度事業計画及び収支予算の決定について

③ その他

3. 幹事会

(1) 幹事会 (第1回)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年行っている幹事会を開催せず、これに替えて、各幹事に対して総会提出予定議案に対する意見照会を行った。

意見照会の期日：5月7日

意見照会の内容：

- ① 第8回総会決議の省略について
- ② 総会提出予定議案について
 - ア 令和元年度事業報告及び収支決算について
 - イ 令和2年度会費の賦課額及び徴収方法について
 - ウ 役員の補欠選任について
 - エ その他（令和2年度事業計画及び収支予算等の情報共有）

(2) 幹事会 (第2回)

毎年、第2回理事会との合同で開催してきたが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、幹事会を開催せず、理事会終了後、理事会決議事項を配布し情報共有を図った。

期 日：令和3年2月25日

4. 試験委員会

期 日：令和3年3月8日

場 所：岩手県農業共済会館 会議室

- 議 事：① 令和2年度農薬試験事業の実績について
- ② 令和3年度農薬展示圃の農薬選定について
 - ③ その他

5. 監査会

期 日：令和2年5月21日

場 所：一般社団法人岩手県植物防疫協会

II 事業

1. 植物防疫推進事業

(1) 農薬の安全使用及び適正防除の推進

県が実施する植物防疫行政及び植物防疫事業に参画し、関係機関と連携を図りながら、それぞれの役割分担のもとに、農薬の安全使用や適正防除を推進した。なお、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、県や関係団体が開催する各種会議、研修会等も中止や規模縮小、書面による議決、意見照会となった。

- ① 農薬適正販売・使用研修会への参加【6/26（農業研究センター）】（欠席）
- ② 農薬管理使用アドバイザー認定委員会、病害虫・雑草防除指針作成会議などへの参画。
 - ・農薬管理使用アドバイザー認定委員会【7/21（県庁）、2/2（エスポワール岩手）】
 - ・岩手県病害虫・雑草防除指針作成会議【本会議 8/25（県庁）、2/2（エスポワールいわて）分科会 10/28-29（農研センター）】
- ③ 農林航空防除事業連絡会議（書面による意見照会）
- ④ 県植物防疫事業に関する検討会議、試験研究会議等への出席。
 - ・「JM7 台木」利用衰弱症状対策連絡プロジェクトチーム会議【7/17（農研センター他）】
 - ・試験研究推進会議外部検討会議【9/9-10,1/6-8（農研センター）】
 - ・病害虫防除実績検討会【12/7,11,16,18（農研センター）】
 - ・植物防疫事業令和2年度実績、令和3年度計画検討会議【3/9（エスポワール岩手）】
- ⑤ 国等が主催する植防関連会議、研修会への参加。
 - ・北海道・東北地区植物防疫協議会への出席【11/26-27（仙台市 東北農政局）】（欠席）
- ⑥ 農業共済関係会議への出席。
 - ・損害評価会農作物共済（水稻、麦）、畑作物共済（大豆、ホップ、そば）部会【4/17, 8/4, 11/10, 12/3, 12/8, 1/18, 2/16, 2/19（農業共済会館）】
 - ・岩手県病害虫防除連絡協議会【幹事会（書面による意見照会）、総会（書面決議）】
- ⑦ 植物防疫協会関係会議等への出席。
 - ・北海道東北地区植物防疫協会事務局会議【岩手植防担当（中止）】
 - ・日本植物防疫協会総会【6/12（東京 ホテルラングウッド）（正会員のみで開催（欠席））】
 - ・日本植物防疫協会シンポジウム【（東京 日本教育会館）】（中止）】

(2) 植物防疫に関する調査研究

本年度は、発表実績なし

(3) 植物防疫に関する研修会及び講習会の開催

- ① 岩手県植物防疫関係者技術研修会の開催
主催：岩手県植物防疫協会（協賛：農薬工業会東北支部）
期日：令和2年11月17日
場所：花巻市志戸平 ホテル志戸平
出席者数：80名

【 研修内容 】

ア「今年度の水稻病害虫の発生状況について」

岩手県病害虫防除所 技師 田 村 恵里佳

イ「近年問題となっている野菜病害について」

岩手県農業研究センター 病理昆虫研究室 主査専門研究員 岩 館 康 哉

ウ「今年度新たに確認された害虫について」

岩手県病害虫防除所 技師 福 田 拓 斗

エ「ネギ害虫に関する2, 3の知見 (第2弾)」

(一社) 岩手県植物防疫協会 鈴 木 敏 男

オ「リンゴワタムシの防除体系について」

岩手県農業研究センター 病理昆虫研究室 上席専門研究員 加 藤 真 城

カ「今年度のりんご病害の発生状況について」

岩手県病害虫防除所 主査 藤 田 章 宏

キ「2020年のリンゴ黒星病の発生特徴から見た防除の問題点と次年度の対策」

(一社) 岩手県植物防疫協会 仲 谷 房 治

ク「りんご病害防除体系の変更点について」

岩手県農業研究センター 病理昆虫研究室 主査専門研究員 羽 田 厚

② 専門研修会の開催

県、全農等の要請に応じて、技術指導や診断、生産者配布用技術資料の提供を行った。

- ・リンゴ黒星病の多発を受けた対応協議等【7/15,9/8,10/12, (農業研究センター)】
- ・園芸技術向上研修会 (野菜病害の上手な防除方法)【12/22 (陸前高田市) 大船渡地方農業振興協議会】
- ・野菜生産者向け防除指導資料作成【12月 岩手中央農協の依頼】

(4) 航空防除及び一般防除の推進

① 岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会の活動を事務局として支援

【総会・研修会 (書面)、安全運航研修会 (中止 資料提供)、幹事会 7/17、飛行技術競技会 9/2 (農大) (中止)、幹事会 3/10】

② 産業用無人ヘリコプターオペレーター連絡協議会の活動を支援

総会・研修会 (中止)

2. 農薬試験事業

岩手県内に発生する病害虫及び雑草を防除するための新農薬の薬効試験並びに作物残留試験など実用化に関する圃場試験を行った。また、登録農薬の現地における普及展示や適応性を検証した。

(1) 農薬等受託試験事業

一般社団法人日本植物防疫協会、公益財団法人日本植物調節剤研究協会、その他関係団体から依頼された農薬等の各種試験を受託した。受託試験は当協会で実施するとともに、委託試験事業運営要領に基づき、県試験研究機関（農業研究センター）に委託した。

受託件数は、作物残留試験については変動が少ないものの、効果試験については殺虫殺菌剤、除草剤とも近年減少傾向にある。

表1 農薬試験事業（効果試験、農薬残留試験）受託件数（H25～R2）

R3.1.31現在

受託試験場所	年度	試験件数									合計
		日植防			日植調			農林水産航空協会			
		効果	残留	計	効果	残留	計	効果	残留	計	
岩手県植物防疫協会	R 2	80	38	118	0	0	0	0	0	0	118
	R 1	79	38	117	0	0	0	0	0	0	117
	H30	90	42	132	0	0	0	0	0	0	132
	H29	109	38	147	0	0	0	1	0	1	148
	H28	116	36	152	0	0	0	0	1	1	153
	H27	161	47	208	0	0	0	0	1	1	209
	H26	158	37	195	0	0	0	0	0	0	195
	H25	123	26	149	0	0	0	0	1	1	150
(対前年比：増減数)	R2-R1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1
岩手県試験研究機関	R 2	70	0	70	20	0	20	0	0	0	90
	R 1	88	0	88	23	2	25	1	0	1	114
	H30	77	0	77	37	1	38	0	0	0	115
	H29	96	1	97	36	0	36	0	0	0	133
	H28	92	0	92	32	1	33	0	0	0	125
	H27	86	0	86	34	1	35	1	0	1	122
	H26	94	0	94	40	0	40	0	0	0	134
	H25	81	0	81	44	1	45	0	0	0	126
(対前年比：増減数)	R2-R1	-18	0	-18	-3	-2	-5	-1	0	-1	-24
計	R 2	150	38	188	20	0	20	0	0	0	208
	R 1	167	38	205	23	2	25	1	0	1	231
	H30	167	42	209	37	1	38	0	0	0	247
	H29	205	39	244	36	0	36	1	0	1	281
	H28	208	36	244	32	1	33	0	1	1	278
	H27	247	47	294	34	1	35	1	1	2	331
	H26	252	37	289	40	0	40	0	0	0	329
	H25	204	26	230	44	1	45	0	1	1	276
(対前年比：増減数)	R2-R1	-17	0	-17	-3	-2	-5	-1	0	-1	-23

(2) 農薬展示圃設置事業

新薬剤等の適正な使用と普及を図るため、農薬の展示圃を設置し、運営事務を担当した。展示圃調査業務は岩手県に委託した。展示圃設置数は、本年は18カ所と近年では最少となった。

なお、展示農薬は、県からの展示要望があった農薬の他、公益財団法人日本植物調節剤研究協会、農薬会社等から依頼された農薬等について、試験委員会（R2.3.5）において検討し、選定した。

表2 年次別農薬展示設置件数

R3.1.31現在

作物	農薬	R2		R1		H30		H29		H28		H27		H26	
		農薬数	設置数	農薬数	設置数	農薬数	設置数	農薬数	設置数	農薬数	設置数	農薬数	設置数	農薬数	設置数
水 稻	殺菌・殺虫剤	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	0	0
	除草・生調剤	2	2	4	5	4	5	5	6	5	7	4	4	8	11
	畦畔雑草	0	0	0	0	0	0	1	2	3	3	-	-	-	-
畑作・飼料作	殺菌・殺虫剤	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2
	除草・生調剤	0	0	1	1	2	4	3	4	1	1	3	3	2	3
果 樹	殺菌・殺虫剤	7	7	7	8	4	5	3	4	3	6	5	5	6	6
	除草・生調剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野菜・花卉	殺菌・殺虫剤	9	9	11	11	10	10	10	12	8	8	11	13	10	13
	除草・生調剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		18	18	25	27	21	25	24	30	22	27	26	28	27	35

- ① 成績検討会（令和2年度分）
農業研究センター（令和2年12月21日 農業普及技術課主催）
- ② 展示圃試験設計会議（令和3年度分）
農業研究センター（令和3年3月17日 農業普及技術課主催）

3. 図書販売事業

- ① 「いわての農作物病虫害図鑑」、「いわての農作物雑草図鑑」の販売
- ② 岩手県編集の病虫害・雑草防除指針等の増刷・販売
印刷部数：820部
販売部数：会員・賛助会員等680部
会員以外 42部
※農業普及技術課からの依頼により農業改良普及会に替わって農家等に販売
贈呈等 58部
- ③ 日本植物防疫協会の出版物（農薬概説）の斡旋
※ 農薬管理使用アドバイザー認定研修の教科書として（約92部）